



●司会

**田村 雄一**

国際医療福祉大学医学部循環器内科准教授 / 国際医療福祉大学三田病院肺高血圧症センター代表

●出席者

**須田 理香**

千葉大学大学院医学研究院呼吸器内科学

**高月 晋一**

東邦大学医療センター大森病院小児科学講座准教授

**辻野 一三**

北海道大学大学院医学研究院  
呼吸・循環インベティブリサーチ講座  
特任教授

**濱崎 和也**

国立循環器病研究センター 9E 病棟 副看護師長  
心臓・血管コース CVEN

(五十音順)



# 肺高血圧症とPRO —emPHasis-10を中心に—

肺動脈性肺高血圧症(PAH)の診療が成熟し、PAH患者の予後が劇的に改善するなかで、これまで注目されてこなかった患者報告アウトカム(PRO)が注目されるようになった。第6回肺高血圧症ワールドシンポジウム(6th WSPH)においても“Patients Perspective”というタスクフォースが設けられ、PAHと長期に付き合っていく患者のPROをいかに評価し、診療に還元していくかが世界的な関心事となっている。本座談会では、実際の臨床現場でPRO評価の可能性を模索されている先生方をお招きし、PRO評価の方法やその意義に関してディスカッションいただいた。